

令和6年度第2期早島町まち・ひと・しごと創生総合戦略

効果検証有識者懇談会における主な意見

(1) 総合戦略の取り組みと成果について

- ・都市圏全体では人口が減少していけば衰退につながっていくことになるため、都市圏全体として人口戦略を考えていく必要がある。
- ・人口が増え、維持される場合であっても、周辺自治体の人口が減っていくとその後の流入も減ることになるため、今後もしっかりと人口減少対策を講じていく必要がある。
- ・岡山市・倉敷市への通勤アクセスの良さを活かし、子育てのしやすいまちづくりを進める事で、さらに居住者が増える可能性はある。また、物流2024年問題に対応するための重要地点として全国的に注目されている早島町を含む流通センター付近は、今後も物流倉庫などの建設が増えると予想される。同エリアへ通勤するのに、早島町は絶好の場所となるため、そういった意味でも居住者増のポテンシャルは高い。
- ・空き家のリフォームなどで、家族が引っ越してきやすいような物件が増えれば、そうした企業従業員家族などの居住をさらに増やせる可能性がある。
- ・生活者の基盤をしっかりと整えていくことが重要で、早島駅はできるだけ早く整備をしてその周辺で住みやすい場所を整えていく必要がある。町内は車も多く、歩きづらい場所もあるため、住みやすい町や歩く人にやさしい町となるよう計画的に整備を進めていく必要がある。
- ・駅周辺は歩行者が歩きづらいところがあるため、計画的に対策をしていく必要がある。
- ・住み続けたい町、生活がしやすい町になることが最も重要で、今後もその視点での施策展開が望まれる。
- ・子どもを保育園などに預けやすい環境が整えば、安心して仕事ができることになり、生活のしやすさにもつながる。
- ・18歳までの医療費無料は、子育て世代には有難い制度のため、続けるべき。

- ・早島町は、生活に密着したような施策をしているので、さらに進んだ施策として、女性の意見を聞く機会を作り、施策に反映すればよりよいまちになっていく。
- ・町の職員をあげて育休をとるようになれば全県ニュースにもなり、より育休を取りやすい環境にしようとする企業も増える。
- ・ふるさと納税は直接早島町と関係ない人が寄付をしているため、ホームページにALKAREのマップなどを積極的に掲載して、「動いている早島町」をPRすれば、他地域からの流入が増え、持続可能なまちになるのではないかな。
- ・コンパクトにまとまっているので、住んでいる人が利用しやすいものを充実させていくことが良い。
- ・早島町内のスーパーが夕方には品薄となる事が多いらしく、国道2号付近にスーパーやドラッグストアがあれば便利ではないかな。

（２）地方創生推進交付金を活用した事業について

- ・早島町の役割として、周辺地域との交流を促すような潤滑油のような存在となっていくことが望まれ、それが町の発展にも繋がっていく。
- ・観光は町の活気を見せるもので、ALKARE早島など、コンパクトシティを活かした歩く観光は非常に良い。早島町は町並みが残っているので、町外へのPRに力を入れれば、より誘客ができるのではないかな。町だけでは限界があるので、観光素材の掘り起こしをプロに委託するのも良い。
- ・早島駅のバリアフリー化による利便性向上により、荷物を抱えた旅行者でもスムーズに移動できる環境が整備されるようになり良い。駅を出てからの歩いて移動する場合の道路事情や、宿泊施設も重要。最近では、古民家を利用した分散型の宿泊施設もある。古い町並みや景観が残っている早島町に宿泊してお金を落としてもらおう、という方向性を検討するのも良い。
- ・観光をメインとするなら宿泊が必須なので、ゲストハウス等の宿泊施設をもっとPRした

り、宿泊施設へ補助金を出す等して持続性を高めることで、観光目的で町へ訪れる人も増えるのではないかな。

- ・岡山市、倉敷市の観光客を早島へ呼び込む施策を検討するのも良い。
- ・ALKARE 早島は、紙面が大きくなったのは良いが、4 つ折りになり開きにくくなった。また、開いた状態だと大きすぎて持ち歩きには不便になったのではないかな。
- ・ALKARE 早島の店舗などの詳細な内容を QR コードから見れるようにすれば、紙面を有効活用できて利便性が上がる。
- ・ハヤシネマのチケット購入については、インターネットに慣れていない人もいるので、現地購入も残してほしい。
- ・ハヤシネマについては、町外から人を呼ぶのではなく、今の町民向けの方向性で良い。
- ・ハヤシネマは安価で、わざわざ映画館に行かなくても良く、お年寄りや小さい子供も利用しやすいという点で良い試みのため、続けるべき。
- ・空き家バンクの登録数の指標については、早島町は地価が上がり人気のエリアのため、空き家バンクに登録しなくても流通する状況にあるので、そもそも指標として適していないのでは。空き家として放置されている物件の掘り起こしという視点であれば、空き家の流通に資する他の施策、例えば荷物の片づけに対する補助金等を実施し、それを指標としても良い。
- ・町歩きなどのコースを整備する際には、必ずコインロッカーとシャワーを設置するほど需要が増えているため、ふれあいの森公園へのシャワー設置の効果は非常に大きい。皆が使いたくなるような綺麗な施設を維持してもらいたい。
- ・ユーザーの意見を取り入れてキャンプ場のクオリティの高さを維持できれば、さらに固定客が定着するのではない。